

アザミに集まる虫たち

秋の里山を歩いていると、周りの植物よりもひととき背の高いピンク色の花が目につきます。アザミの仲間です。ノハラアザミやタイアザミなど、複数の種類が競うように咲いていることもあります。5分もじっと観察していれば、多くの虫が次から次へとこの花にやってくるでしょう。花は筒状の小花がいくつも集まってできており、その一つ一つに蜜や花粉が含まれています。虫たちにとって、アザミの花はまさに楽園なのです。一方のアザミからしても、花粉を別の花に運び届けてくれる虫たちは、子孫繁栄のために欠かせない存在。そんな“深い”関係性にある両者の美しい共演を覗いてみたいと思います。

チョウの仲間

アザミには様々な種類のチョウがやってきます。チョウが訪花すると、雄しべの筒が下に下がり、雌しべとともに花粉が姿を現します。べとべとした花粉がしっかりとチョウの体に付着して、他の花へと運ばれます。



ミドリヒョウモン



メスグロヒョウモン



キアゲハ



イチモンジセセリ



ウラナミシジミ

ガの仲間

昼間に活動するガの一種、ホウジャクの仲間もアザミの常連客です。ハチドリのようにすばやく羽ばたき、ホバリングしながら長い口を伸ばして吸蜜します。まるでチョウのようなイカリモンガもアザミにやってきます。



イカリモンガ



ヒメクロホウジャク



ホシホウジャク

その他の昆虫

チョウとガの他には、花に潜り込んで吸蜜するハチやアブの仲間、長時間にわたって集団吸蜜を行うクチナガガンボ、花粉を集めて食べるツユムシの仲間などが、アザミの花の上で見つかりました。



ヒメハラナガツチバチ



オオハナアブ



クチナガガンボ



アシグロツユムシ